

hp
mp3220 シリーズ
digital projector



ユーザーズガイド

ご注意

本書の記載内容は、予告なしに変更される可能性があります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の明示的保証規定に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

オーストラリアおよび英国における消費者取引：上記の免責事項および制限は、オーストラリアおよび英国における消費者取引には該当せず、消費者の法的権利に影響しません。

著作権法で許可されている場合を除いて、ヒューレット・パッカード社の事前の書面による許可なく本書の複製、翻案、翻訳を行うことは禁止されています。

本製品を制御するプログラムは著作権で保護されています。
ヒューレット・パッカード社の事前の書面による許可なくこれらのプログラムを複製、翻案、翻訳することも禁止されています。

Microsoft(R) および Windows(R) は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。
Adobe(R) および Acrobat(R) は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Hewlett-Packard Company
Digital Projection and Imaging
1000 NE Circle Blvd.
Corvallis, OR 97330

第 1 版 (2004 年 5 月)

1 セットアップ

内容物	8
主な機能の説明	9
プロジェクタ全体図	10
プロジェクタのボタンとライト	11
バックパネル	12
リモコン	13
アクセサリ	14
プロジェクタのセットアップ	15
プロジェクタの位置を決めるには	16
卓上に設置するには	17
電源を接続するには	18
コンピュータを接続するには	19
携帯端末を接続するには	20
ビデオソースを接続するには	21
電源のオン/オフ	24
プロジェクタの電源をオンにするには	24
プロジェクタの電源をオフにするには	25
基本調整	26
プロジェクタの投影位置を調整するには	26
焦点とズームを調整するには	27

2 プレゼンテーション

リモコンを使用する	29
プレゼンテーションの表示	31
コンピュータからプレゼンテーションを行うには	31
ソースを変更するには	32
画面を非表示または再表示するには	32

3 プロジェクタの調整

画像とサウンドの調整	33
画像の歪みを調整するには	33
画像の種類に応じて投影画像を調整するには	34
その他の画像設定を調整するには	34
オーディオを調整するには	34
プロジェクタのセットアップを調整するには	35
オンスクリーンメニューの使用方法	36
オンスクリーンメニューを使って設定を変更するには	37
クイックセレクトメニュー	38
入力メニューの選択	39
画像調整メニュー	40
セットアップメニュー	42
ヘルプメニュー	42

4 プロジェクタのメンテナンス

日常のメンテナンス	43
プロジェクタのステータスを見るには	43
プロジェクタのレンズを清掃するには	44
ランプモジュールを交換するには	44
リモコンの電池を交換するには	46
プロジェクタのアップグレード	47
ファームウェアをアップデートするには	47

5 プロジェクタの設置

プロジェクタの設置方法	49
卓上に設置するには	49
天井に設置するには	50
背面投影用に設置するには	52
プロジェクタを三脚に設置するには	53
プロジェクタをロックするには	53

6 問題の解決

トラブルシューティングのヒント	55
始動時の問題	56
画像の問題	57
音声の問題	61
停止の問題	61
リモコンの問題	62
プロジェクタのテスト	63
プロジェクタ診断テストを実行するには	63

7 リファレンス

仕様	65
安全情報	70
安全上の注意	70
LED の安全性	71
水銀の安全性	71
規制情報	72
米国	72
カナダ	73
日本	73
韓国	73
国際	74

索引

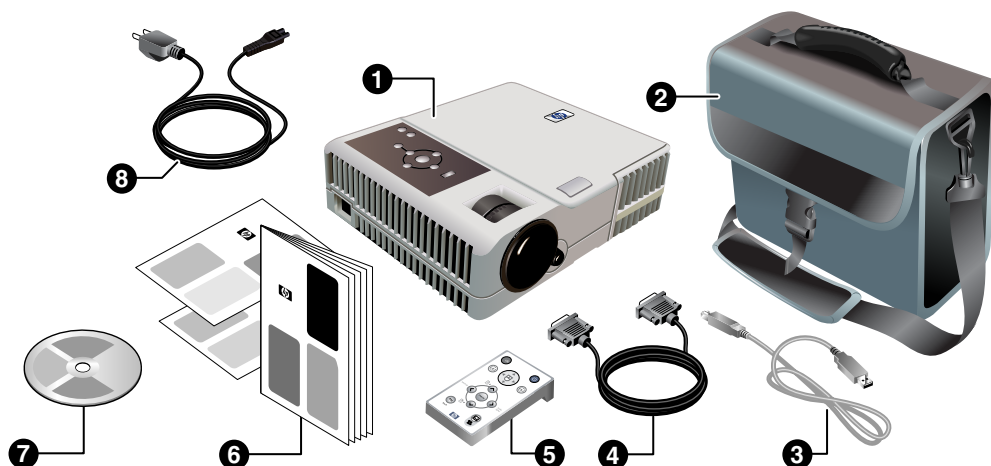
セッティング

この章では、HP デジタルプロジェクタの設置とセッティング方法について説明します。

- 8 ページの『内容物』
- 9 ページの『主な機能の説明』
- 15 ページの『プロジェクタのセッティング』
- 24 ページの『電源のオン / オフ』
- 26 ページの『基本調整』

内容物

プロジェクタをセットアップする前に、梱包ケースに以下の品目が入っていることを確認してください。以下のいずれかの品目が不足している場合は、HP までご連絡ください。



内容物の説明

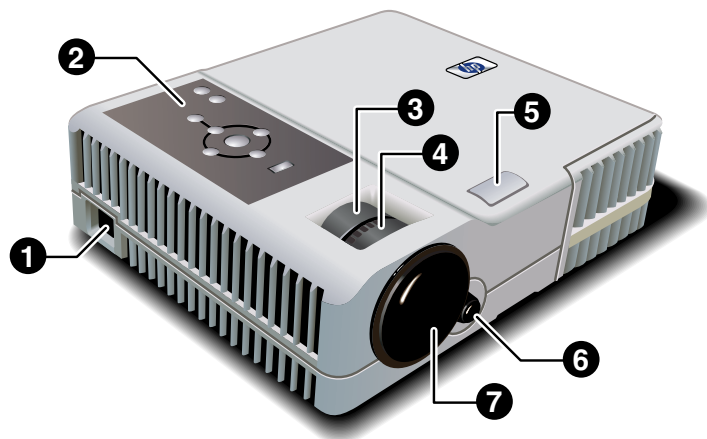
番号	名称	機能
①	プロジェクタ	画像を表示します。
②	キャリングケース	プロジェクタの携帯および保護用。
③	USB ケーブル	コンピュータの USB 入力に接続します。
④	VGA ケーブル	コンピュータのビデオ出力に接続します。
⑤	リモコン	プロジェクタを操作します。
⑥	クイックセットアップガイド、保証、サポート、およびポート使用説明書	プロジェクタを初めて使用するときの手順とサポート情報について説明します。
⑦	ドキュメンテーション CD	ユーザーズガイドおよびその他のドキュメンテーションが収録されています。
⑧	電源コード	プロジェクタを電源に接続します。

主な機能の説明

このセクションでは、プロジェクタの一般的な機能について説明します。

- 10 ページの『プロジェクタ全体図』
- 11 ページの『プロジェクタのボタンとライト』
- 12 ページの『バックパネル』
- 13 ページの『リモコン』
- 14 ページの『アクセサリ』

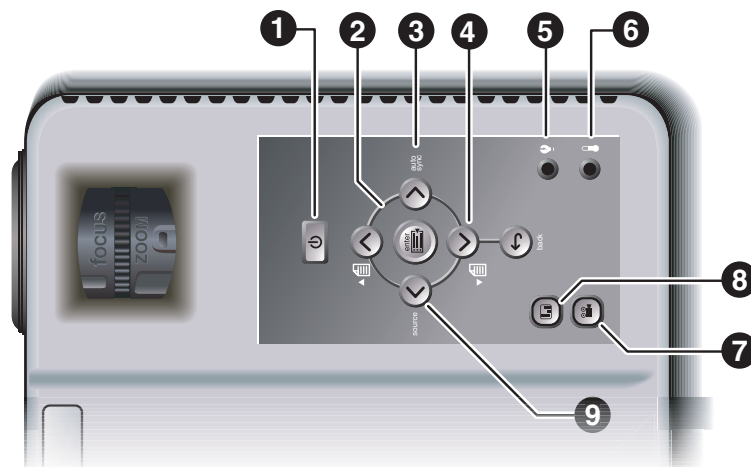
プロジェクタ全体図



プロジェクタの各部分の説明

番号	名称	機能
①	電源コネクタ	プロジェクタの電源コードを接続します。
②	ボタンパネル	ボタンとライトが配置されています。
③	ズームリング	画像のサイズを 100% ~ 120% の範囲で拡大します。
④	フォーカスリング	1.2 ~ 12 m の範囲で焦点を調整します。
⑤	高さ調整ボタン	画像の高さを調整します。
⑥	リモコン受光部	リモコンからの信号を受信します。
⑦	レンズカバー	レンズを保護します。

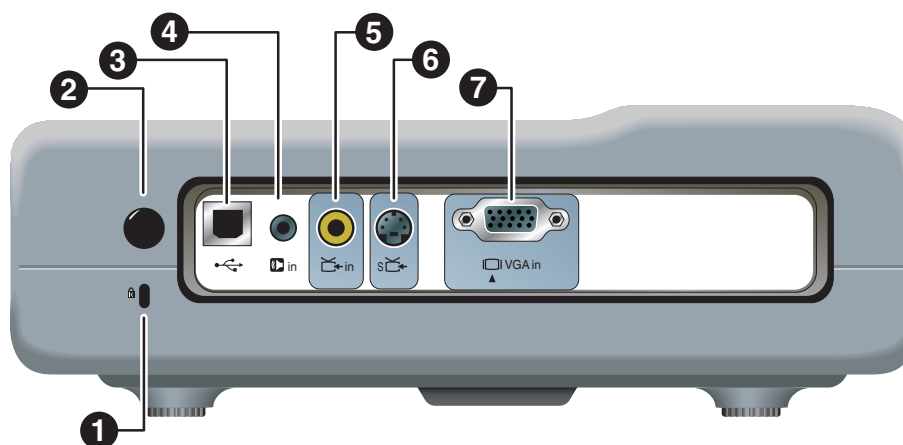
プロジェクタのボタンとライト



プロジェクタのボタンとライトの説明

番号	名称	機能
①	電源ボタン	プロジェクタの電源をオン/オフします。
②	Enter (入力) ボタン、back (バック) ボタン、矢印ボタン	オンスクリーンメニューを使ってプロジェクタ設定を変更します。
③	Auto sync (自動同期) ボタン	プロジェクタを入力信号に再同期させます。
④	ページアップ、ページダウンボタン	接続したコンピュータのページを上下にスクロールします。
⑤	ランプ警告ライト	ランプが切れたときに点灯します。
⑥	温度警告ライト	内部温度が高くなりすぎると点灯します。
⑦	ビデオボタン	ビデオ入力に合わせて画像を最適化します。
⑧	グラフィックスボタン	データ入力に合わせて画像を最適化します。
⑨	Source (ソース) ボタン	次の入力ソースに切り替えます。

バックパネル



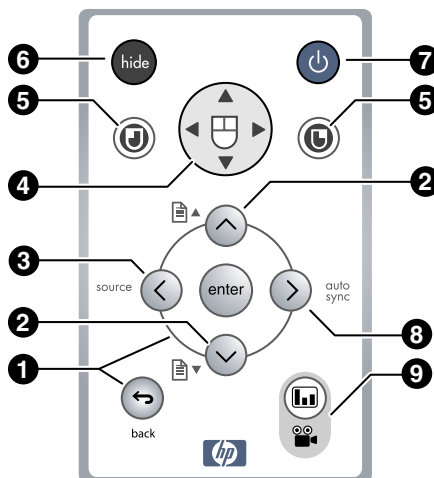
バックパネルの説明

番号	名称	機能
①	セキュリティスロット	ケーブルロックを使ってプロジェクタを固定します。
②	リモコン受光部	リモコンからの信号を受信します。
③	USB 出力	マウスをコントロールするためにコンピュータに接続します。
④	オーディオ入力	オーディオソースを接続します。
⑤	コンポジットビデオ入力 (RCA)	ビデオデッキなどのビデオ入力を接続します。
⑥	S ビデオ入力	ビデオデッキや DVD プレーヤなどのビデオ入力を接続します。
⑦	VGA 入力	コンピュータからのビデオ入力を接続します。

リモコン



リモコンを使用する前に、リモコンからプラスチックのタブを引き抜いて外し、電池の保護カバーを取り外してください。



リモコンのボタンの説明

番号	名称	機能
①	Enter (入力) ボタン、back (バック) ボタン、矢印ボタン	オンスクリーンメニューを使ってプロジェクト設定を変更します。
②	ページアップ、ページダウンボタン	接続したコンピュータのページを上下にスクロールします。
③	Source (ソース) ボタン	次の入力ソースに切り替えます。
④	マウスパッド	接続したコンピュータのマウスポインタを動かします。
⑤	マウスの左クリックおよび右クリックボタン	接続したコンピュータの左クリックおよび右クリックのマウス機能を実行します。
⑥	hide ボタン	画面を非表示にします。
⑦	電源ボタン	プロジェクタの電源をオン / オフします。
⑧	Auto sync (自動同期) ボタン	プロジェクタを入力信号に再同期させます。
⑨	画像モードボタン	入力の違い (ビデオまたはデータ) に応じて、画像を最適化するために調整します。

アクセサリ

HP プロジェクタアクセサリをお使いいただくと、より高度なプレゼンテーションを行うことができます。アクセサリは、www.hp.com またはプロジェクタの販売代理店からお求めいただけます。

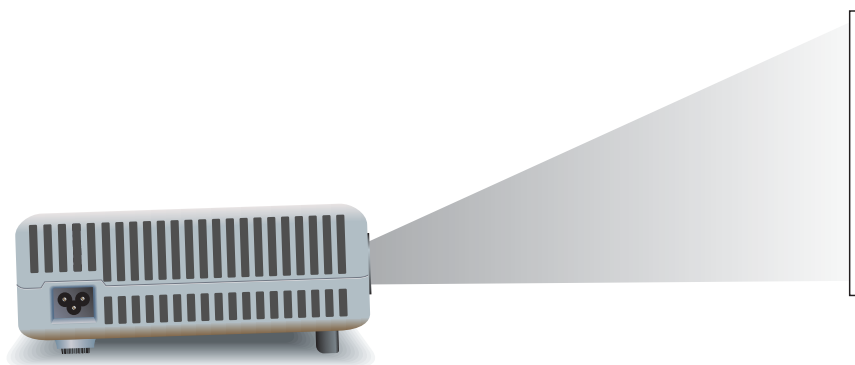
- **HP 天井取り付けキット**を使うと、簡単にしかも確実にプロジェクタを天井に取り付けることができます。
- 内蔵ハンドル付きの **HP モバイルスクリーン**は、プレゼンテーションを行う場所に簡単に持ち運び、セットアップできるスクリーンです。
- HP のプレミアム**リモコン**は、プレゼンテーションの全操作をコントロールできます。
- **HP 電源ケーブル**は、地域特有の電源に接続するためのケーブルです。
- **HP ケーブル**は、すべてのオーディオおよびビデオ機器を接続できるケーブルです。
- **HP 交換ランプ**を使うと、プロジェクタが工場出荷時の明るさに戻ります。

プロジェクタのセットアップ

このセクションでは、プロジェクタのセットアップ方法、設置プランの立て方および接続方法について説明します。

- 16 ページの『プロジェクタの位置を決めるには』
- 17 ページの『卓上に設置するには』
- 18 ページの『電源を接続するには』
- 19 ページの『コンピュータを接続するには』
- 20 ページの『携帯端末を接続するには』
- 21 ページの『ビデオソースを接続するには』

プロジェクタの位置を決めるには



以下の表に、スクリーンとの距離に応じたプロジェクタの配置場所について示します。

画像サイズとスクリーンからの距離の対応表

画像サイズ (対角線)	画像サイズ (幅)	距離 (レンズとスクリーン間)
0.8 m	0.6 m	1.2 ~ 1.5 m
1.0 m	0.8 m	1.6 ~ 2.0 m
1.5 m	1.2 m	2.4 ~ 2.9 m
2.0 m	1.6 m	3.3 ~ 3.9 m
2.5 m	2.0 m	4.1 ~ 4.9 m
3.0 m	2.4 m	4.9 ~ 5.9 m
3.8 m	3.0 m	6.1 ~ 7.3 m
4.6 m	3.7 m	7.3 ~ 8.8 m
5.1 m	4.1 m	8.1 ~ 9.8 m
6.1 m	4.9 m	9.8 ~ 11.7 m
6.9 m	5.5 m	11.0 ~ 12.0 m
7.4 m	5.9 m	11.8 ~ 12.0 m

この距離の表以外にも、以下の式を使用して、スクリーンの位置に応じたプロジェクトの設置場所を決めることができます。

投影距離の計算方法

レンズからスクリーンまでの距離 = $A \times$ スクリーンの幅

スクリーンからの最少 / 最大距離 = B

スクリーンの幅 = $0.8 \times$ スクリーンの対角線長 (4:3 スクリーンの場合)

プロジェクトのレンズがスクリーン下端よりも低い場合 = $C \times$ スクリーンの幅
(4:3 スクリーンの場合)

$A = 2.0 \sim 2.4$

$B = 1.2 \sim 12 \text{ m}$

$C = 0.11 \sim 0.42$

卓上に設置するには

1. スクリーンの前面から 1.2 ～ 12 m 離れた位置にある安定した台の上にプロジェクトを置きます。プロジェクトを置く台は、スクリーン下端よりも低い位置が理想的です。
2. 電源コードの一方の端をプロジェクトの側面に接続し、もう一方の端を電源コンセントに差し込みます。
3. プロジェクトの電源を最初に入れたときに、画像が上下逆または反転状態になっている場合は、メニュー設定を変更してください。オンスクリーンメニュー (37 ページの『オンスクリーンメニューを使って設定を変更するには』を参照) を開き、**セッティング > プロジェクトの配置を選択します**。次に、ドロップダウンリストから**スクリーン正面**を選択します。これがデフォルト設定です。

プロジェクトを天井やスクリーン背面に設置する場合は、49 ページの『プロジェクトの設置方法』を参照してください。

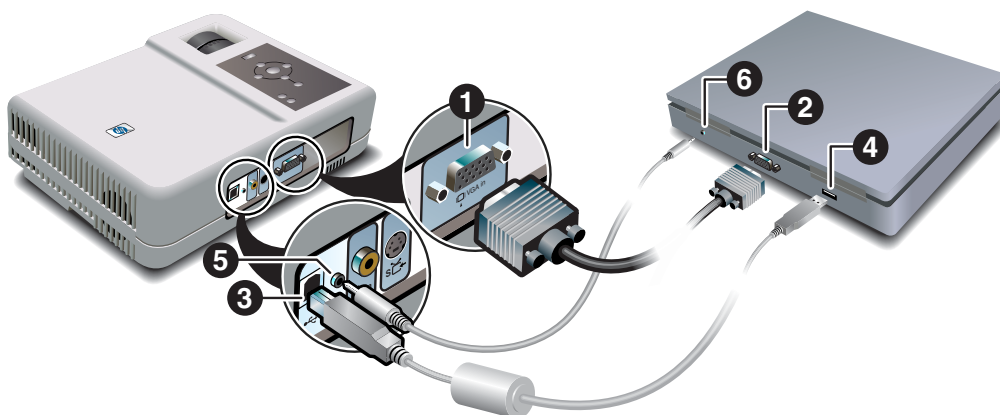
電源を接続するには

- 電源コードの一方の端をプロジェクタの側面 **①** に接続し、もう一方の端を電源コンセント **②** に差し込みます。



コンピュータを接続するには

1. プロジェクタの VGA ポート ❶ とコンピュータの VGA ポート ❷ を VGA ケーブルで接続します。
2. (オプション) リモコンをコンピュータのマウスとして使用するには、プロジェクタの USB ポート ❸ とコンピュータの USB ポート ❹ を USB ケーブルで接続します。
3. (オプション) オーディオ信号を受信するには、プロジェクタのオーディオポート ❺ とコンピュータ ❻ をミニプラグオーディオケーブル (付属していません) で接続します。



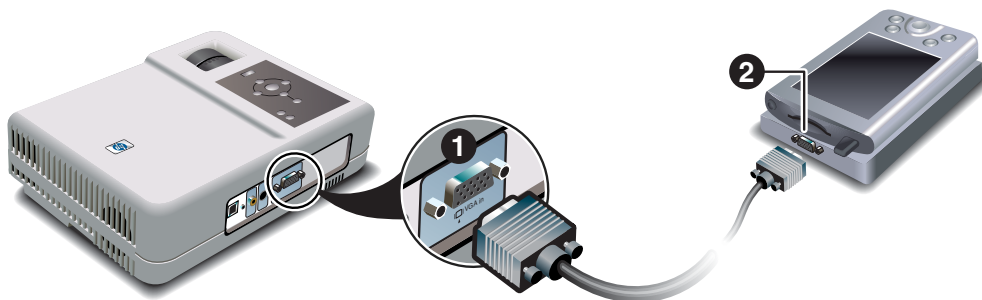
携帯端末を接続するには

1. 携帯端末に VGA 出力ポートがあることを確認してください。必要ならば、VGA 出力アクセサリカードを携帯端末に装着します。



携帯端末によっては VGA 出力ポートを持たないものがあります。例えば、iPAQ Pocket PC の場合、15 ピンコネクタを持つ VGA 出力 PC カードが必要です。

2. プロジェクタの VGA ポート ❶ と携帯端末の VGA 出力 PC カード ❷ を VGA ケーブルで接続します。



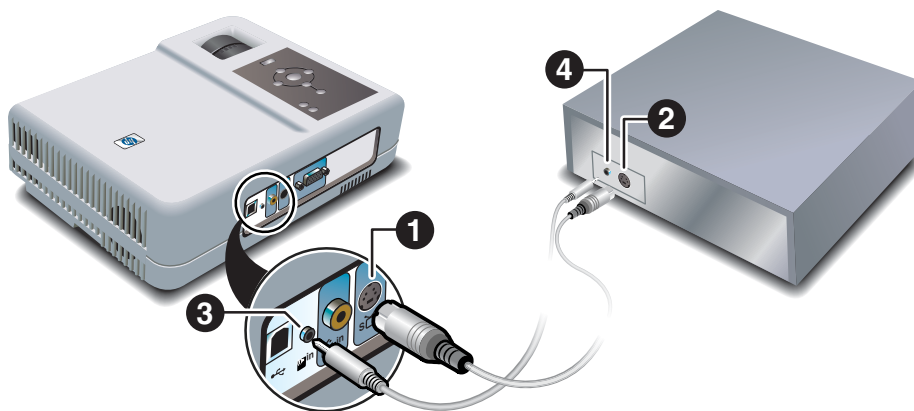
ビデオソースを接続するには

SCART ビデオデバイスをお使いの場合は、プロジェクタにデバイスを接続するアダプタが必要です (HP から入手可能)。

S ビデオ接続

たいていの DVD プレーヤやビデオデッキには S ビデオポートがあります。

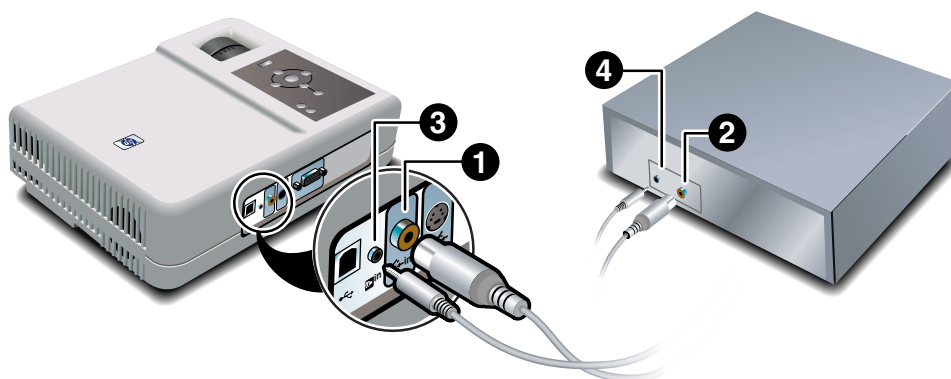
1. プロジェクタの S ビデオポート **①** とビデオデバイス **②** を S ビデオケーブル (付属していません) で接続します。
2. (オプション) オーディオ信号を受信するには、プロジェクタのオーディオポート **③** とビデオデバイス **④** をミニプラグオーディオケーブル (付属していません) で接続します。ビデオデバイスに RCA オーディオコネクタがある場合は、ミニプラグ RCA アダプタまたはケーブルを使用してください。



コンポジットビデオ接続

お使いのビデオデッキやビデオ機器にはコンポジットビデオ出力 (1 個の RCA ビデオ出力コネクタ) があります。

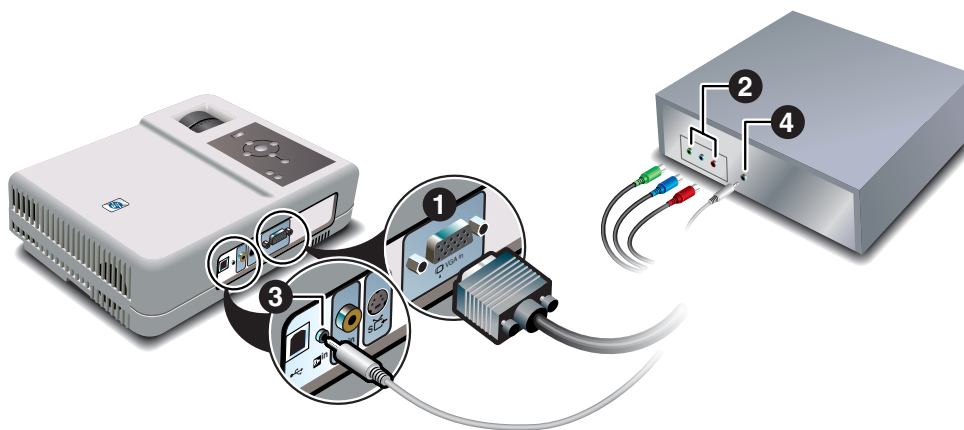
1. プロジェクタのコンポジットビデオポート **①** とビデオデバイスの RCA ビデオポート **②** をコンポジットビデオケーブル (RCA コネクタ) (付属していません) で接続します。
2. (オプション) オーディオ信号を受信するには、プロジェクタのオーディオポート **③** とビデオデバイス **④** をミニプラグオーディオケーブル (付属していません) で接続します。ビデオデバイスに RCA オーディオコネクタがある場合は、ミニプラグ RCA アダプタまたはケーブルを使用してください。



コンポーネントビデオ接続

たいていの DVD プレーヤーやその他のビデオ機器には、コンポーネントビデオ出力があります。これは、「Y、Pb、Pr」や「R、G、B」などのラベルが付いた RCA コネクタです。

1. プロジェクタの VGA ポート ❶ とビデオデバイスの RCA コンポーネントビデオコネクタ ❷ を VGA- コンポーネントビデオケーブル (HP から入手可能) で接続します。
2. (オプション) オーディオ信号を受信するには、プロジェクタのオーディオポート ❸ とビデオデバイス ❹ をミニプラグオーディオケーブル (付属していません) で接続します。ビデオデバイスに RCA オーディオコネクタがある場合は、ミニプラグ RCA アダプタまたはケーブルを使用してください。



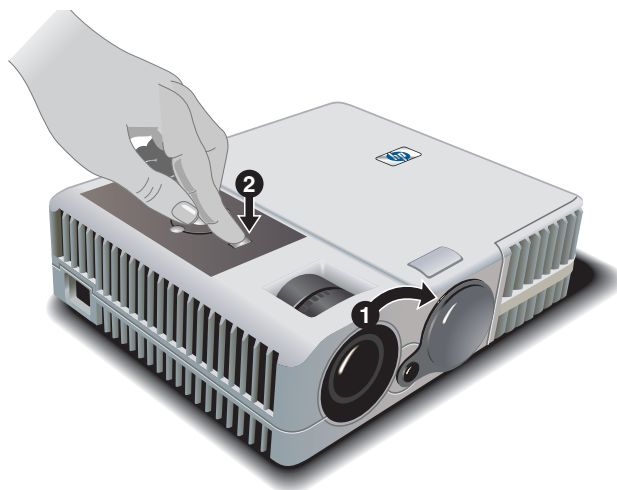
電源のオン / オフ

このセクションではプロジェクタの電源をオン・オフする方法について説明します。

- 24 ページの『プロジェクタの電源をオンにするには』
- 25 ページの『プロジェクタの電源をオフにするには』

プロジェクタの電源をオンにするには

1. 電源コードが接続されていることを確認してください。
2. レンズカバー ❶ を回して開きます。
3. プロジェクタ上部の電源ボタン ❷ またはリモコンの電源ボタンを押します。



4. コンピュータ、携帯端末、DVD プレーヤなどのソースを接続してオンにします。詳細は、15 ページの『プロジェクタのセットアップ』を参照してください。

プロジェクタの電源をオフにするには

1. プロジェクタの電源ボタンまたはリモコンの電源ボタンを押して、プロジェクタの電源をオフにします。
クールダウンが終了すると電源ボタンの点滅が止まり、プロジェクタの電源がオフになります。
2. クールダウン中にビデオ機器やオーディオ機器の接続をプロジェクタから取り外してもかまいませんが、電源コードは取り外さないでください。
3. 電源を抜いたりプロジェクタを移動したりする場合は、電源ボタンのライトの点滅が消えてから電源コードを取り外してください。



注意：プロジェクタのクールダウンが終了し（ファンが停止）、電源ボタンのライトの点滅が消えるまで、プロジェクタの電源コードを抜いたりスイッチをオフにしたりしないでください。これは、ランプの寿命を低下させるのを防ぐためです。

クールダウン中にプロジェクタの電源をオンにしようとしても、オンにはなりません。クールダウンが終了し、電源ボタンの点滅が消えてからオンにしてください。

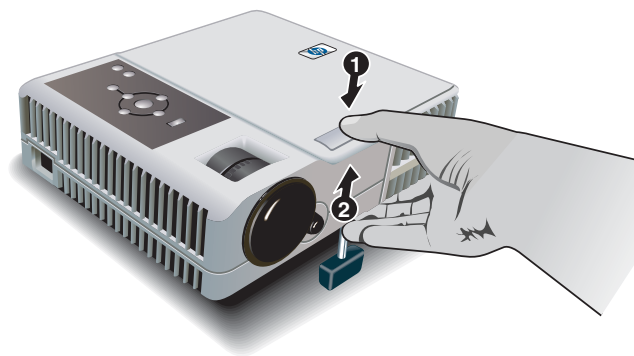
基本調整

このセクションでは、プロジェクタの基本的な調整方法について説明します。

- 26 ページの『プロジェクタの投影位置を調整するには』
- 27 ページの『焦点とズームを調整するには』

プロジェクタの投影位置を調整するには

- スクリーンで投影画像の位置を上げるには、高さ調整ボタン **①** を押して、プロジェクタの前部を適切な表示角度 **②** になるまで上に向けます。ボタンから指を離すと、その位置で固定されます。
- 投影画像の位置を下げるには、高さ調整ボタンを押して、プロジェクタの前部を適切な表示角度になるまで下に向けます。ボタンから指を離すと、その位置で固定されます。
- プロジェクタを保管するには、高さ調整ボタンを押してプロジェクタを完全に下げた状態にしてから、ボタンを離します。



プロジェクタを上下に傾けると、画像の両側が歪む場合があります。画像の両側が垂直になるように調整するには、33 ページの『画像の歪みを調整するには』を参照してください。

画像がスクリーンの高さと合っていない場合は、プロジェクタの背面にある調整可能な脚を回して、プロジェクタのレベルを調整します。

焦点とズームを調整するには

1. フォーカスリングを回して、画像が鮮明になるように調整します。
プロジェクタが焦点を調整できる距離は、1.2 ～ 12 m の範囲です。
2. ズームリングを回して、画像の大きさを 100% ～ 120% の範囲で調整します。



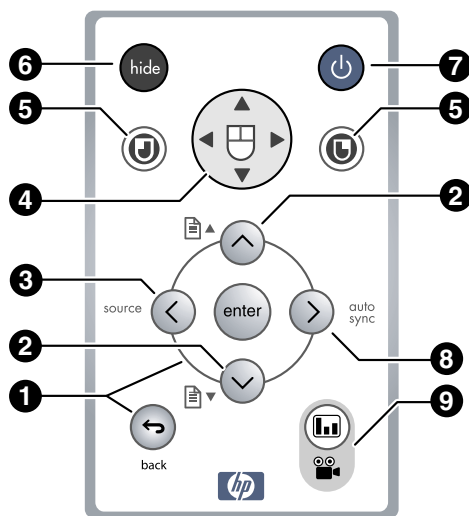
画像がスクリーンに比べて小さすぎる場合は、プロジェクタをスクリーンに近づけてください。

プレゼンテーション






この章では、プロジェクタを使用してプレゼンテーションを行う方法について説明します。

- 29 ページの『リモコンを使用する』
- 31 ページの『プレゼンテーションの表示』

リモコンを使用する



- プロジェクタをオン/オフするには、電源ボタン **⑦** を押します。
- 投影された画像を非表示にしたり再表示したりするには、**hide** ボタン **⑥** を押します。
- 接続されている次の入力ソースに切り替えるには、**source** ボタン **③** を押します。

- コンピュータでマウスを操作するには、ポインタを移動する方向でマウスパッド ④ の縁を押し、左クリック ⑤ または右クリックボタン ⑤ を押します。この機能を使用するには、プロジェクタとコンピュータを USB 接続する必要があります。
- コンピュータのページを上下にスクロールするには、ページアップ ▲およびページダウン ▼ボタンを押します。この機能を使用するには、プロジェクタとコンピュータを USB 接続する必要があります。
- 入力信号の種類に合わせて画像を最適化するには、画像モードボタン / を押します。これで、ビデオ入力とデータ入力の調整を切り換えることができます。
- オンスクリーンメニューを使ってプロジェクタ設定を変更するには、**enter** を押し、矢印ボタンを使って変更を行います。詳細な手順については、36 ページの『オンスクリーンメニューの使用法』を参照してください。
- オンスクリーンメニューや調整を終了するには、**back**  ボタンを押します。
- 同期を調整するには、**auto sync** ボタンを押します。



9 m 以内の距離から、リモコンを画面に向けるか、プロジェクタの前面または背面に向けます。

プレゼンテーションの表示

このセクションでは、プレゼンテーション中に行える操作について説明します。



- 31 ページの『コンピュータからプレゼンテーションを行うには』
- 32 ページの『ソースを変更するには』
- 32 ページの『画面を非表示または再表示するには』

コンピュータからプレゼンテーションを行うには



1. コンピュータがプロジェクタに接続されていることを確認します。詳細は、19 ページの『コンピュータを接続するには』を参照してください。
2. コンピュータとプロジェクタの電源がオンになっていることを確認します。詳細は、24 ページの『プロジェクタの電源をオンにするには』を参照してください。



コンピュータの画面がスクリーンに投影されていない場合、ファンクションキー (**Fn + F4** または **Fn + F5** など) を押してコンピュータのビデオポートを有効にする必要がある場合があります。詳細は、プロジェクタに付属するビデオポートカードを参照してください。

3. 投影画像を調整する場合は、33 ページの『画像とサウンドの調整』を参照してください。
4. リモコンを使ってプレゼンテーションを効果的に行うことができます。詳細については、29 ページの『リモコンを使用する』を参照してください。
 - プレゼンテーションのページを移動するには、ページアップ  またはページダウン  ボタンを押します。
 - マウスポインタを動かすには、ポインタを動かす方向でマウスパッドの縁を押します。



マウスやページアップ  ページダウン  操作を行う場合、9 m 以内の距離からリモコンをスクリーンに向けるか、プロジェクタの前面または背面に向けます。

これらの操作を行うには、プロジェクタとコンピュータを USB 接続する必要があります。

ソースを変更するには

ソースを変更する手順：

- プロジェクタまたはリモコンの **source** ボタンを押します。
- オンスクリーンメニューを開き、**ソースの選択**を選択し、入力ソースが接続されているポートを選択します。

画面を非表示または再表示するには

画面を一時的に非表示にすることができます。

- リモコンの **hide** ボタンを押します。(5秒以内に **hide** ボタンをもう一度押すと、表示をもう一度表示する方法を尋ねることなく、表示が完全に空白になります。)
- オンスクリーンメニューを開き、**クイックセレクト > 非表示**を選択します。

もう一度 **hide** ボタンを押すか、プロジェクタまたはリモコンのいずれかのボタンを押すまで画面は空白になります。



Microsoft PowerPoint を使用する場合、**B** キーまたは **W** キーを押すことで画面を非表示にすることもできます。もう一度 **B** キーまたは **W** キーを押すまで、画面は空白になります。

プロジェクタの調整

この章では、プロジェクタの調整方法について説明します。

- 33 ページの『画像とサウンドの調整』
- 36 ページの『オンスクリーンメニューの使用方法』

画像とサウンドの調整

このセクションでは、画像とサウンドの調整方法について、以下の項目に分けて説明します。

- 33 ページの『画像の歪みを調整するには』
- 34 ページの『画像の種類に応じて投影画像を調整するには』
- 34 ページの『その他の画像設定を調整するには』
- 34 ページの『オーディオを調整するには』
- 35 ページの『プロジェクタのセットアップを調整するには』





画像の歪みを調整するには

スクリーンに投影された画像の両端が傾いている場合は、これをまっすぐに直すことができます。これには、両側がまっすぐになるまで、上または下の辺を短くします。

1. オンスクリーンメニューを開き、**クイックセレクト** > **キーストーン**を選択します。
2. 必要に応じて、プロジェクタまたはリモコンのメニューボタンを使用してキーストーンの設定を調整します。
 - 画像の上辺の幅が広すぎたり、狭すぎたりする場合は、左 **<** または右矢印ボタン **>** を押して上辺の幅を修正します。
 - 画像の左右の辺が長すぎたり、短すぎる場合は、プロジェクタがスクリーンにまっすぐに向かうように動かします。
3. **back** **↩** ボタンを押して設定を保存します。

画像の種類に応じて投影画像を調整するには

プロジェクタまたはリモコンの画像モードボタンを使って、投影画像を最適化できます。

- データプレゼンテーション用に画像を最適化するには、プロジェクタのグラフィックス  ボタンを押します。
グラフィックスボタンがオンになります。
- ビデオ映像用に画像を最適化するには、プロジェクタのシアタービデオ  ボタンを押します。
ビデオボタンがオンになります。
- 設定を切り替えるには、リモコンで画像モード  /  ボタンを押します。

その他の画像設定を調整するには


オンスクリーンメニューには、画像を微調整するためのさまざまな設定が用意されています。

1. オンスクリーンメニューを開き、**画像調整**を選択します。
2. 必要に応じて画像調整を変更します。

画像調整メニューでは、輝度、コントラスト、縦横比、キーストーン補正など、画像の基本および詳細設定を行うことができます。

すべての画像調整の説明については、40 ページの『画像調整メニュー』を参照してください。



オンスクリーンメニューや調整を終了するには、**back**  ボタンを押します。

オーディオを調整するには

1. オンスクリーンメニューを開き、**クイックセレクト**を選択します。
2. オーディオ調整を設定します。
クイックセレクトメニューから、ミュートと音量を調整できます。

プロジェクタのセットアップを調整するには

1. オンスクリーンメニューを開き、**セットアップ**を選択します。
2. 必要に応じて画像調整を変更します。

セットアップメニューでは、メニューの言語、プロジェクタの設置場所、ランプセーバーモードなどの設定を選択できます。


すべてのセットアップの変更方法の説明については、42 ページの『セットアップメニュー』を参照してください。

オンスクリーンメニューの使用方法

このセクションではオンスクリーンメニューの操作方法と機能について説明します。セクション内の各表は、本書が発行された時点でファームウェアに組み込まれているオンスクリーンメニューの全機能の一覧です。ファームウェアのバージョンが異なる場合、一部のメニューがここに示すものと異なる可能性があります。

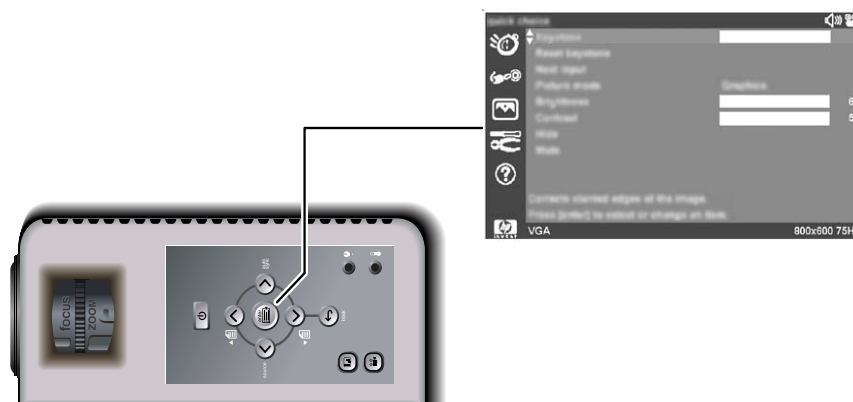
- 37 ページの『オンスクリーンメニューを使って設定を変更するには』
- 38 ページの『クイックセレクトメニュー』
- 39 ページの『入力メニューの選択』
- 40 ページの『画像調整メニュー』
- 42 ページの『セットアップメニュー』
- 42 ページの『ヘルプメニュー』



オンスクリーンメニューや調整を終了するには、**back**  ボタンを押します。

オンスクリーンメニューを使って設定を変更するには

オンスクリーンメニューの設定は、プロジェクトのボタンまたはリモコンのボタンを使って変更できます。



1. プロジェクタまたはリモコンの **enter** を押すと、オンスクリーンメニューが開きます。
 2. アップ **▲** またはダウン **▼** ボタンを押して目的のメニューを強調表示し、右矢印ボタン **▶** を押して強調表示されたメニューを選択します。
 3. アップ **▲** またはダウン **▼** ボタンを押して目的のパラメータを強調表示し、**enter** を押して強調表示されたオプションを選択します。
 4. 左 **◀** または右 **▶** 矢印ボタンを押して、使用する設定を選択します。一部の設定では、変更中に別の画面が表示されることがあります。
 5. **enter** を押すか、画面に指示されたボタンを押してメニューに戻ります。
 6. 別のメニューに移るには、左矢印ボタン **◀** を押してからメニューを選択します。
 7. オンスクリーンメニューを選択するには、**back** **◀** ボタンを押します。
- 一定時間操作をしないでおくと、オンスクリーンメニューは閉じます。オンスクリーンメニューが閉じるまでの時間を変更するには、オンスクリーンメニューを開き、**セットアップ > メニューのタイムアウト**を選択します。



調整には、複数の関連した設定を変更できます。設定の調整に、関連する設定への移動に関するヒントが含まれている場合は、**up** **▲** または **down** **▼** を押して、別の設定にすばやく移動して、調整することができます。

クイックセレクトメニュー

クイックセレクト

キーストーン	画像の台形歪みを補正します。
キーストーンのリセット	キーストーン補正をゼロにリセットします。
次の入力	使用可能な次の信号を入力ソースから検出します。
画像モード	画像の種類に応じてカラーパレットを調整します。コンピュータプレゼンテーションまたはビデオ出力に合わせて、画像を最適化できます。画像モードを変更するボタンは、リモコンとプロジェクトにあります。
輝度	画像を明るくしたり暗くしたりします。
コントラスト	明るい部分と暗い部分の差を調整します。
非表示	スクリーンの画像をすべて非表示にします。
ミュート	オーディオ出力を停止します。
音量	音量を調整します。

入力メニューの選択

説明図については、12 ページの『バックパネル』を参照してください。

ソースの選択

VGA	VGA ポートへの入力を示します。通常これは、コンピュータに接続します。コンポーネントビデオデバイスにも接続することができます。この入力は通常はグラフィックス入力と見なされます。
コンポジットビデオ	黄色のコンポジットポート (バックパネルの S ビデオポートの左側の入力) への入力を示します。このポートは通常テレビやビデオデッキに接続されます。この入力は通常はビデオ入力と見なされます。
S ビデオ	S ビデオポートへの入力を示します。これは通常、ビデオデッキ、ビデオカメラ、DVD プレーヤなどのビデオ装置に接続します。この接続は通常はビデオ入力と見なされます。
ソースの自動スキャン	プロジェクタが入力信号を自動検出し、次に検出されたソースを自動的に表示するかどうかを設定します。

画像調整メニュー

画像調整

画像モード	画像の種類に応じてカラーパレットを調整します。コンピュータプレゼンテーションまたはビデオ出力に合わせて、画像を最適化できます。画像モードを変更するボタンは、リモコンとプロジェクタにあります。
画像モードの調整 ...	現在の画像モードを定義する設定を変更します。
白輝度	白い領域の輝度を設定します。
画像補正	画像の色、明るさ、その他の特徴を微調整します。
色温度	色を赤または青の方向にずらします。
縦横比	<p>プロジェクタで自動補正されない画像の場合に、縦横の比率を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自動調整を選択すれば、ほとんどの入力に対して自動的に適応します。 • 投影エリア全体に画像を拡大するには、全面を選択します。 • 入力画像の1ドットを投影画像の1ドットに対応させるには、1:1を選択します。 <p>画像のソースがワイドスクリーンデバイスである場合は、画像調整 > 形の設定 > ワイドスクリーン入力を開きます。</p>
この画像モードをリセット	現在の画像モードをデフォルトに戻します。
カラー設定 ...	画像とカラーを調整します。
輝度	画像を明るくしたり暗くしたりします。
コントラスト	画像の明るい部分と暗い部分の差を調整します。
鮮明度	画像の鮮明度を調整します。
彩度	色の彩度を調整します。
色合い	色を赤または緑の方向にずらします。

画像調整 (続き)

赤	画像の赤の量を調整します。
緑	画像の緑の量を調整します。
青	画像の青の量を調整します。
カラスペース	コンポーネント入力の一部で、入力ソースが使用している信号エンコーディングのタイプを選択します。プロジェクタの選択をオーバーライドすることもできます。
カラー設定のリセット	これらのカラー設定をデフォルトの設定に戻します。
形の設定 ...	画像の形を調整します。
キーストーン	画像の台形歪みを補正します。
キーストーンのリセット	キーストーン補正をゼロにリセットします。
ワイドスクリーン入力	ワイドスクリーン (16:9) 入力デバイスを使用している場合に設定します。
VGA 設定 ...	VGA 入力ポートの設定を調整します。
自動同期	プロジェクタとコンピュータからの入力信号を再度同期させます。信号の変化に応じた補正が可能です。
周波数	コンピュータのグラフィックスカードに応じてプロジェクタのタイミングを調整します。
トラッキング	プロジェクタをコンピュータのグラフィックスカードと同期します。
垂直オフセット	画像を投影領域内で上下に移動します。
水平オフセット	画像を投影領域内で左右に移動します。
ビデオ設定のリセット	すべてのビデオ設定をデフォルト値に戻します。

セットアップメニュー

セットアップ

言語 ...	メニューの言語を選択します。
ランプセーバー	ランプの低電力レベルを設定します。
プロジェクトの配置	プロジェクトの向き（正立 / 倒立、スクリーン前 / 後）に応じて画像を調整します。向きに合わせて画像を反転したり裏返したりします。
メニューのタイムアウト	オンスクリーンメニューを閉じるまでの入力待ち時間を秒数で設定します。
ソースの自動スキャン	プロジェクトが入力信号を自動検出し、次に検出されたソースを自動的に表示するかどうかを設定します。
ランプ時間のリセット	新しいランプの場合は、使用時間をリセットします。
すべての設定のリセット	すべてのメニュー設定をデフォルト値に戻します。

ヘルプメニュー

ヘルプ

	プロジェクトの情報とステータスを表示します。
診断テスト ...	プロジェクトとリモコンの動作をチェックするためのテストを表示します。

プロジェクトのメンテナンス

この章では、プロジェクトのメンテナンス方法について説明します。

- 43 ページの『日常のメンテナンス』
- 47 ページの『プロジェクトのアップグレード』

日常のメンテナンス

このセクションでは日頃のメンテナンスの方法について説明します。

- 43 ページの『プロジェクトのステータスを見るには』
- 44 ページの『プロジェクトのレンズを清掃するには』
- 44 ページの『ランプモジュールを交換するには』
- 46 ページの『リモコンの電池を交換するには』

プロジェクトのステータスを見るには

- オンスクリーンメニューを開き、**ヘルプを選択します**。画面にプロジェクトの情報とステータスが表示されます。

プロジェクタのレンズを清掃するには

- レンズ表面を損傷したり傷付けたりしないため、脱イオン処理したきれいな乾いた空気でレンズから埃を吹き飛ばしてください。

この方法で不十分な場合は、次の方法を使ってください。

- きれいな乾いた布で、レンズを同一方向に拭きます。レンズ表面を往復させて拭かないようにしてください。

布が汚れていたり、レンズに汚れが付いた場合は、布を洗ってください。布が洗ってもきれいにならない場合、あるいは生地が傷んでいる場合は、別の布を使ってください。



注意：清掃には以下のような特別な注意が必要です。

- レンズ表面に液体やクリーナーを直接吹き付けることは絶対にしないでください。クリーナーがレンズを損傷するおそれがあります。
 - 清掃用の布を洗う際に柔軟剤を使用したり、乾かすときに柔軟シートを使用したりすることは避けてください。布に付いた化学物質がレンズの表面を損傷するおそれがあります。
 - 清掃用の布がレンズに触れたままで長時間保管しないでください。布の染料がレンズに移るおそれがあります。布を空気中に放置しておくと汚れるおそれがあります。
-

ランプモジュールを交換するには



警告：ランプモジュールを交換する際は、特別な注意が必要です。

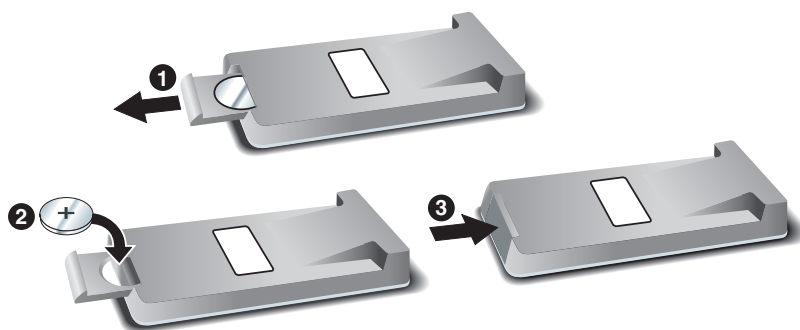
- 怪我の危険を避けるには、稀にランプが破損した場合に、十分に注意してプロジェクタから割れたガラスを取り出してください。ランプが割れている場合は、修理が必要な可能性があるので HP までご連絡ください。
 - ランプには少量の水銀が含まれています。ランプが破損した場合は、破損が起きた部屋を十分に換気してください。ランプの廃棄は、環境汚染防止のために法律で規制されている場合があります。廃棄またはリサイクルの方法については、各自自治体または電子工業会 (<http://www.eiae.org>) にお問い合わせください。
 - ランプ部品は非常に高温になるため、ランプモジュールは 30 分ほどしてから取り外してください。
-

1. プロジェクタをオフにし、約 30 分間冷却します。
2. プロジェクタの底部で、ランプカバーにある 2 個のネジを緩め、カバーを取り外します。
3. ランプモジュールの 2 個のネジを緩め、モジュールを引き出します。
4. ランプモジュールを挿入し、2 個のネジを締めます。
5. カバーを取付け、2 個のネジを締め付けます。
6. プロジェクタの電源をオンにします。ウォームアップ時間が過ぎてもランプが点灯しない場合は、もう一度ランプを取り付けてみてください。
7. オンスクリーンメニューを開き、**セットアップ> ランプ時間のリセット**を選択します。



リモコンの電池を交換するには

1. 電池ホルダーを引き出します。
2. 新しい電池をホルダーに挿入します。
3. ホルダーをリモコンに押し入れます。



古い電池を廃棄する場合は、電池の廃棄またはリサイクルに関する規制について、自治体または廃棄業者にお問い合わせください。



プロジェクトのアップグレード

ファームウェアをアップデートするには

HP ではプロジェクトの性能改善のために、プロジェクトのファームウェアの最新バージョンを随時リリースしています。プロジェクトのファームウェアのバージョンは、プロジェクトのオンスクリーンメニューの**ヘルプ**に表示されます。最新バージョンの有無は http://www.hp.com/go/proj_firmware をご確認ください。

USB 接続によるアップデート

1. USB ポートを持つコンピュータで、HP プロジェクトアップグレード Web サイトにアクセスし (このセクションの最初を参照)、最新の USB アップグレード用ファイルをダウンロードします。
2. プロジェクトの USB ポートとコンピュータの USB ポートを USB ケーブルで接続します。
3. コンピュータ上で、ダウンロードしたファイルをダブルクリックしてアップグレードを実行します。画面に表示される指示にしたがいます。

プロジェクタの設置

この章では、プロジェクタの設置方法について説明します。

プロジェクタの設置方法

このセクションでは、プロジェクタを定位置に設置する方法について説明します。

- 49 ページの『卓上に設置するには』
- 50 ページの『天井に設置するには』
- 52 ページの『背面投影用に設置するには』
- 53 ページの『プロジェクタを三脚に設置するには』
- 53 ページの『プロジェクタをロックするには』

卓上に設置するには

この設置方法については、第 1 章で詳しく説明しています。詳細については、15 ページの『プロジェクタのセットアップ』を参照してください。

天井に設置するには

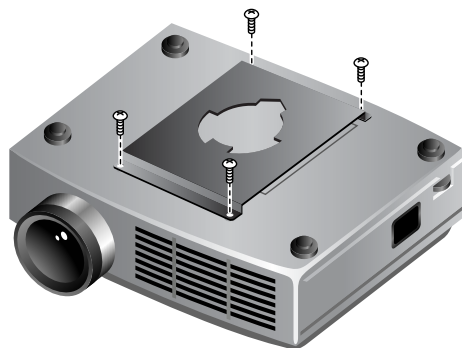


警告：不適切な設置が原因で起こるケガなどを防ぐために、プロジェクタの天井設置は専門の技術者にお任せになることをお勧めします。

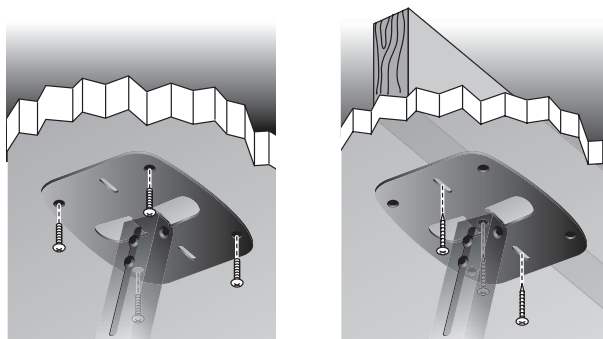


実際のプロジェクタおよび取付けプレートは、次の図と異なる場合がありますが、実行する手順は同じです。

1. プロジェクタの底部に取付けプレートを取付けます。ブラケットの穴のとがった方をプロジェクタの背面に向けます。天井取付け器具に付属の説明書を参照してください。



2. 天井取付けブラケットを天井にあてがい、耐荷重 **9 kg** の 4 本のネジのうち 3 本でしっかりと固定します。天井取付けブラケットはスクリーンの前面から **1.2 ～ 12 m** の範囲内に取付けます。15 ページの『プロジェクタのセットアップ』の表を参照してください。



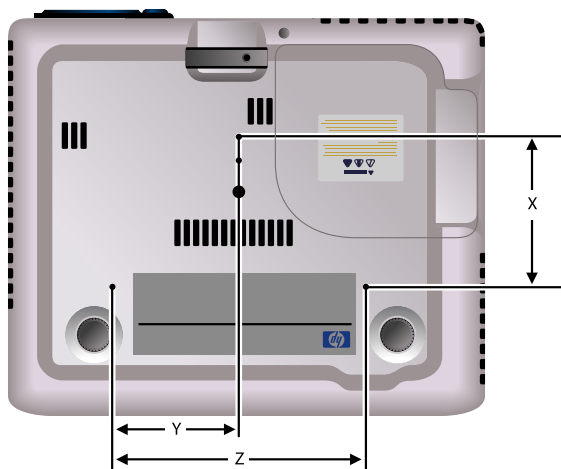
3. プロジェクタのレンズがスクリーンから離れた場所に向いた状態で、タブがロックされるようにブラケットに取付けプレートを挿入し、プロジェクタが前に向くように回転させます。背面のサムスクリューを締め付けてから、他の2つのサムスクリューを締め付けます。



4. 設定に合わせてオンスクリーンメニューを変更します。オンスクリーンメニューを開き、**セットアップ>プロジェクタの配置**を選択します。次に、ドロップダウンリストから**天吊り(スクリーン正面)**を選択します。

HP 以外の天井取付け器具を使用する場合、以下の寸法に従ってプロジェクタを取付けてください。

- X = 82 mm
- Y = 55 mm
- Z = 110 mm
- ネジ寸法 = M3



背面投影用に設置するには

1. 背面投影用の半透明スクリーンの背面から 1.2 ～ 12 m 離れた位置にプロジェクタを配置します。

詳細な手順については、17 ページの『卓上に設置するには』または 50 ページの『天井に設置するには』を参照してください。

2. オンスクリーンメニューを開き、**セットアップ > プロジェクタの配置**を選択します。次に、ドロップダウンリストから**スクリーン裏側**または**天吊り (スクリーン裏側)**を選択します。

プロジェクトを三脚に設置するには

このプロジェクトの底面には、三脚用の取付け部があります。これにカメラ店や電気店で市販されている三脚を取付けて使用することができます。



注意：

- 三脚は、耐荷重が 2.5kg 以上のものをご使用ください。詳細については、三脚に付属の説明書を参照してください。
- 三脚の取付け用ネジを強く締めすぎないようにご注意ください。ネジが壊れてプロジェクトが三脚から落下するおそれがあります。

プロジェクトをロックするには

プロジェクトには、ケーブルとロック (コンピュータ販売店などで広く市販されている Kensington MicroSaver ロックシステムなど) で固定するためのスロットが装備されています。

1. 机の脚などの固定された物体にケーブルを巻きつけます。ケーブルを固定物の回りで引き結びを作り、外れないことを確認します。
2. ロック ① を穴に差込み、キー ② を回します。



問題の解決

この章では、起きうる問題とそれらへの対処に関するヒントを紹介します。

- 55 ページの『トラブルシューティングのヒント』
- 63 ページの『プロジェクトのテスト』

トラブルシューティングのヒント

このセクションを使用するには、発生した問題に最も近い例を探し、問題が解決するまで解決方法を1つずつ試してみてください。記載されているヒントで問題が解決しない場合は、HPまでご連絡ください。プロジェクトに付属する『サポートガイド』もご参照ください。

- 56 ページの『始動時の問題』
- 57 ページの『画像の問題』
- 61 ページの『音声の問題』
- 61 ページの『停止の問題』
- 62 ページの『リモコンの問題』

始動時の問題

ライトが点灯せず、音もしない場合：

- ❑ 電源ケーブルがプロジェクタにしっかり接続されており、ケーブルのもう一方の端が通電している電源コンセントに差し込まれていることを確認します。
- ❑ 電源ボタンをもう一度押します。

プロジェクタは始動したが、画像が投影されない場合：

- ❑ レンズカバーが開いていることを確認してください。
- ❑ ランプインジケータがオンまたは点滅している場合は、プロジェクタが冷えてから取り外してください。ランプモジュールを取り外して取付け直します。それでも問題が解決できない場合は、新しいランプを取付けます。
- ❑ 温度インジケータが点灯または点滅している場合は、プロジェクタをオフにしてクールダウンしてから再始動します。警告ライトがまた点灯または点滅する場合は、HPにご連絡ください。

プロジェクタからカチカチ音がする場合、プロジェクタのランプが点灯せず、ランプインジケータが点灯または点滅する場合：

- ❑ プロジェクタのランプの温度が上がりすぎて点灯できません。プロジェクタをオフにしてクールダウンしてから再始動します。
- ❑ ランプインジケータがオンまたは点滅している場合は、プロジェクタが冷えてから取り外してください。ランプモジュールを取り外して取付け直します。それでも問題が解決できない場合は、新しいランプを取付けます。
- ❑ プロジェクタのランプが寿命に達しています。ランプを交換してください。

画像の問題

スクリーンに画像が表示されないが、HP の起動画面は表示される場合：

- ❑ プロジェクタまたはリモコンの **source** ボタンを押します。
- ❑ ノートブックまたはデスクトップコンピュータのスクリーンセーバー機能をオフにします。
- ❑ コンピュータ接続の場合、ノートブックコンピュータの外部ビデオポートがオンになっていることを確認します。プロジェクタに付属するビデオポートカードを参照してください。例えば、一部のノートブックでは、**Fn + F4** ファンクションキーを押して外部ビデオポートをオンにする必要があります。
- ❑ 正しい入力ソースが接続されていることを確認します。オンスクリーンメニューを開き、**ソースの選択**を選択します。次に、機器が接続されている正しい入力ポートを設定します。
- ❑ 自動検出が使用可能になっていることを確認します。オンスクリーンメニューを開き、**ソースの選択 > ソースの自動スキャン**を選択します。

正しくない入力ソースが表示される場合：

- ❑ プロジェクタまたはリモコンの **source(ソース)** ボタンを押して、別のアクティブな入力ソースを選択します。
- ❑ 正しい入力ソースが接続されていることを確認します。オンスクリーンメニューを開き、**ソースの選択**を選択します。続いて、正しい入力ソースを設定します。
- ❑ プロジェクタの自動検出が使用可能になっていることを確認します。オンスクリーンメニューを開き、**ソースの選択 > ソースの自動スキャン**を選択します。
- ❑ 入力ソースの電源をオフ・オンできる場合は、オンスクリーンメニューを開き、**ソースの選択**を選択します。**ソースの自動スキャン**を**オフ**に設定して、正しい入力ソースを選択します。

画像の焦点が合っていない場合：

- ❑ レンズカバーが開いていることを確認してください。
- ❑ オンスクリーンメニューを表示しながら、フォーカスリングを調整します（画像の大きさは変化しないはずです。変化する場合はフォーカスでなくズームを調整しています）。
- ❑ 投影スクリーンがプロジェクタから 1.2 ～ 12 m の距離にあることを確認します。
- ❑ コンピュータ接続の場合は、コンピュータの表示解像度を 1024 × 768 ピクセルに設定します。コンピュータに複数のモニタを接続している場合は、プロジェクタに割り当てているモニタの解像度を調整します。
- ❑ 投影レンズを見て、汚れていたら清掃します。

画像が上下逆または反転状態で表示される場合：

- ❑ プロジェクタの位置設定が間違っています。オンスクリーンメニューを開き、**セットアップ > プロジェクターの配置**を選択して、正しい設定を選択します。

画像が小さすぎるか大きすぎる場合：

- ❑ プロジェクタ上部にあるズームリングを調整します。
- ❑ プロジェクタが投影スクリーンから 1.2 ～ 12 m の距離にあることを確認します。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**画像調整 > 画像モードの調整 > を選択します**。別の設定を使用してみます。
- ❑ ワイドスクリーン画像では、オンスクリーンメニューを開き、**画像の調整 > 形の設定**を選択し、**ワイドスクリーン入力をはい**に設定してみてください。

画像に台形歪みがある場合：

- ❑ できるだけ、プロジェクタの位置をスクリーンの中央、スクリーンの下端より下、または上端より上の高さになるように調節します。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**クイックセレクト > キーストーンを選択します**。必要に応じて設定を調整します。

表示画像がスクロールしたり切れたりする場合：

- ❑ プロジェクタまたはリモコンの **auto-sync (自動同期)** ボタンを押します。
- ❑ コンピュータ接続の場合は、すべての電源をオフにしたあと、まずプロジェクタをオンにしてからノートブックまたはデスクトップコンピュータの電源をオンにします。
- ❑ コンピュータ接続の場合は、上記の手順で表示画像が直らなかった場合は、ノートブックまたはデスクトップコンピュータの解像度を **1024 × 768** ピクセルに調整します。コンピュータに複数のモニタを接続している場合は、プロジェクタに割り当てているモニタの解像度を調整します。

画像が点滅したり不安定になったりする場合：

- ❑ プロジェクタのパネルまたはリモコンの **auto-sync (自動同期)** ボタンを押します。
- ❑ コンピュータ接続の場合は、表示解像度を **1024 × 768** ピクセルに設定します。コンピュータに複数のモニタを接続している場合は、プロジェクタに割り当てているモニタの解像度を調整します。
- ❑ コンピュータ接続の場合は、オンスクリーンメニューを開いて、**画像の調整 > VGA 設定**の順に選択し、**周波数**または**トラッキング**を選択します。

画像が引き伸ばされている場合：

- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**画像調整 > 画像モードの調整 >**を選択します。別の設定を使用してみます。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**画像調整 > 形の設定**を選択します。**ワイドスクリーン入力設定**を変更してみます。

コンピュータ画面から画像が消える場合：

- ❑ ノートブックコンピュータでは、外部 VGA ポートと内蔵画面の両方をオンにできる場合があります。コンピュータのマニュアルまたはプロジェクタのビデオポートガイドを参照してください。

コンピュータ表示からのテキストまたは線が粗い、または均一でないような場合：

- ❑ 焦点を調整します。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**クイックセレクト > キーストーンのリセット**を選択します。

投影画像の色がわずかに違って見える場合：

- ❑ プロジェクタのビデオボタンが点灯していない場合は、プロジェクタのビデオボタンまたはリモコンの画像モードボタンを押してみてください。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**画像調整 > カラー設定**を選択します。必要に応じてカラー設定を変更します。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**画像調整 > カラー設定**を選択します。選択を変更します。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**ヘルプ > 診断テスト**を選択します。カラーテストを実行します。

投影画像の色が全く違って見える場合：

- ❑ ケーブルコネクタのピンが曲がったり折れたりしていないことを確認します。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**画像調整 > カラー設定**を選択します。選択を変更します。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**ヘルプ > 診断テスト**を選択します。カラーテストを実行します。
- ❑ 画像設定をデフォルトの設定に戻します。以下の問題を参照してください。

画像設定が完全に間違っており、修正できない場合：

- ❑ 投影設定をデフォルトの設定に戻します。これには、オンスクリーンメニューを開き、**セットアップ > すべての設定をリセット**を選択し、プロジェクタで5秒間 **▼ + up (上)** **▲ + right (右) ➤** ボタンを押し続けます。

プロジェクタがすべての操作に応答しない場合：

- ❑ 可能な場合は、プロジェクタの電源をオフにし、電源コードを外します。15 秒以上経過したら電源コードを接続して電源をオンにします。

音声の問題

プロジェクタから音が全く出ない場合：

- プロジェクタと入力デバイスがオーディオケーブルで確実に接続されていることを確認します。
- コンピュータ、DVD プレーヤ、ビデオカメラなどの入力装置のミュートや音量の設定が正しいことを確認します。
- オンスクリーンメニューを開き、**クイックセレクト**を選択します。以下の設定を確認します。
 - ◆ ミュートがオフになっている。
 - ◆ 音量設定が正しい。

停止の問題

ランプインジケータまたは温度インジケータが点灯または点滅する場合：

- ランプインジケータが点滅している場合は、ランプが点灯不可能です。プロジェクタが冷却するまで待ってから、もう一度始動させます。
- ランプインジケータがオンまたは点滅している場合は、プロジェクタが冷えてから取り外してください。ランプモジュールを取り外して取付け直します。それでも問題が解決できない場合は、新しいランプを取付けます。
- 温度インジケータが点灯または点滅する場合は、プロジェクタが過熱しています。以下の問題を参照してください。

プロジェクタが突然シャットダウンし、温度ライトが点灯した場合：

- 温度ライトが点滅している場合、ファンが動作していません。プロジェクタを数分間冷却してください。
- 温度ライトが常時点灯している場合、プロジェクタが過熱しています。プロジェクタを数分間冷却してください。
- 通気が妨げられている場合、障害物を取り除きます。
- 可能なら、大きな熱源を部屋から取り除きます。
- プロジェクタを再始動しても同じ状態になる場合は、修理が必要です。HP までご連絡ください。

プレゼンテーション中にランプが消える場合：

- ❑ 小さな電源サージのためにランプが消える場合があります。数分間待ってからプロジェクタをオンにしてください。
- ❑ ランプインジケータがオンまたは点滅している場合は、プロジェクタが冷えてから取り外してください。ランプモジュールを取り外して取付け直します。それでも問題が解決できない場合は、新しいランプを取付けます。

ランプが切れるか、破裂音をする場合：

- ❑ ランプが焼き切れ、ポンという音がした場合は、ランプモジュールを交換するまでプロジェクタの電源がオンにならなくなります。
- ❑ ランプが割れた場合、修理が必要な可能性があるので HP までご連絡ください。

リモコンの問題

リモコンが動作しない場合：

- ❑ プロジェクタ前面または背面にあるリモコンの受光部が何かで覆われていないことを確認して、プロジェクタから 9 m 以内の距離に近づいてください。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**ヘルプ > 診断テスト**を選択します。
リモコンのテストを実行します。
- ❑ リモコンの電池を交換します。

マウスとページアップ/ページダウンボタンだけが動作しない場合：

- ❑ プロジェクタとコンピュータが USB 接続されていることを確認します。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**ヘルプ > 診断テスト**を選択します。リモコンと USB のテストを実行します。

プロジェクタのテスト

オンスクリーンメニューにある診断テストを使って、プロジェクタとリモコンの動作が正しいかどうかを検証できます。

プロジェクタ診断テストを実行するには

1. オンスクリーンメニューを開き、**ヘルプ > 診断テスト**を選択します。
2. 実行するテストを選択します。

リファレンス

この章には、プロジェクタの仕様、安全情報、規制情報を記載します。

- 65 ページの『仕様』
- 70 ページの『安全情報』
- 72 ページの『規制情報』

仕様

HP では常に製品の改良に努めており、以下の仕様は変更される可能性があります。最新の仕様については、HP ウェブサイト <http://www.hp.com/jp> をご覧ください。

プロジェクタ仕様の説明

サイズ	251 mm x 210 mm x 69 mm (9.9 in. x 8.3 in. x 2.7 in.)
重量	1.8 kg
解像度	XGA
投影方式	DLP
ビデオコネクタ	ビデオ入力、S ビデオ入力、コンポジットビデオ入力 (RCA) コンポーネントビデオ入力にはオプションのケーブル
オーディオコネクタ	ミニプラグステレオオーディオ入力
ビデオの互換性	NTSC M (3.58 MHz)、4.43 MHz。PAL B、D、G、H、I、M、N。SECAM B、D、G、K、K1、L。HDTV 480i/p、575i/p、720p、1080i
赤外線受光部	プロジェクタの前面および背面

プロジェクタ仕様の説明 (続き)

レンズ	投影比 2.0:2.4(距離 / 幅)
光学ズーム	1:1.2
キーストーン	マニュアル補正 :+25° ~ -30° (垂直)
オーディオ	モノラルスピーカー、ピーク出力 1W
ランプ	200 W P-VIP ランプ、1.0mm アーク 寿命 2000 時間 ランプセーバーモードは、ランプの電力を 160 W に軽減し、ランプの寿命時間を延長 交換用ランプ :L1720A
ライトエンジン	0.7 インチ、12° DDR DMD XGA
カラーシステム	2 種類のプリセットカラーモードを用意 : グラフィックス ビデオ
リモコン	USB マウス
設置方法	天井 / 卓上、フロント / リアプロジェクション
セキュリティ	ケンジントンロック使用可能
電源	100 ~ 240 V、50 ~ 60 Hz.

プロジェクタ仕様の説明 (続き)

騒音レベル	38±2 dBA
-------	----------

環境	稼動時: 温度 :10 ~ 35 °C 湿度 : 相対湿度 最大 80%、結露がないこと 高度 :3,000m、25 °Cまで 保管時: 温度 : -20 ~ 55° C 湿度 : 相対湿度 最大 80%、結露がないこと 高度 :12,000 m まで
----	---

アナログビデオモード互換性

互換性	解像度	垂直同期周波数 (Hz)	水平同期周波数 (kHz)
VGA	640 × 350	70	31.5
	640 × 350	85	37.9
	640 × 400	85	37.9
	640 × 480	60	31.5
	640 × 480	72	37.9
	640 × 480	75	37.5
	640 × 480	85	43.3
	720 × 400	70	31.5
	720 × 400	85	37.9
	720 × 400	85	37.9
SVGA	800 × 600	56	35.2
	800 × 600	60	37.9
	800 × 600	72	48.1
	800 × 600	75	46.9
	800 × 600	85	53.7
XGA	1024 × 768	60	48.4
	1024 × 768	70	56.5
	1024 × 768	75	60.0
	1024 × 768	85	68.7
SXGA	1280 × 1024	60	63.98
	1280 × 1024	75	79.98
SXGA+	1400 × 1050	60	65.22
	1400 × 1050	60	63.98

アナログビデオモード互換性 (続き)

互換性	解像度	垂直同期周波数 (Hz)	水平同期周波数 (kHz)
MAC LC 13	640 × 480	66.66	34.98
MAC II 13	640 × 480	66.68	35
MAC 16	832 × 624	74.55	49.725
MAC 19	1024 × 768	75	60.24
MAC	1152 × 870	75.06	68.68
MAC G4	640 × 480	60	31.35
MAC G4	640 × 480	120	68.03
MAC G4	1024 × 768	120	97.09
i Mac DV	640 × 480	117	60
i Mac DV	800 × 600	95	60
i Mac DV	1024 × 768	75	60
i Mac DV	1152 × 870	75	68.49
i Mac DV	1280 × 960	75	75
i Mac DV	1280 × 1024	75	90.9

安全情報

安全上の注意



警告：ケガを未然に防ぐため、以下の注意事項をお守りください。

- 目を痛めないよう、ランプが点灯しているあいだは、レンズを直接のぞかないでください。
- 感電防止のため、プロジェクタを雨や湿気にさらさないでください。マニュアルで指示されている場合を除き、プロジェクタのケースを開けないでください。
- 火災や感電防止のため、プロジェクタ内部に小さな金属物が入らないようにしてください。プロジェクタは必ず保護用のケースに入れて持ち運び、ペーパークリップなどの小物を同じケースに入れないでください。
- マニュアルの指示でカバーを外し、内部コンポーネントに触る場合は、プロジェクタの温度が下がるまでお待ちください。
- 火災防止のため、プロジェクタのレンズの周囲に紙類などの可燃物を置かないでください。
- 製品ラベルに記載された電圧および電流定格に適合する電源コードのみを使用してください。たこ足配線を避け、コンセントや延長コードに負荷がかかりすぎないようにしてください。

LED の安全性

デジタルプロジェクタとリモコンの赤外線ポートは、国際標準 IEC 825-1(EN60825-1) に基づいて、クラス 1 LED 機器に分類されています。この機器は無害とされていますが、以下の注意事項を守ることを推奨します。

- 機器の修理が必要な場合は、HP の正規サービスセンターにご依頼ください。
- 機器の調整はいっさい行わないでください。
- LED の光線を目に直接当てることは避けてください。光線は目に見えないので注意してください。
- 何らかの光学機器を通して赤外線 LED の光線を見ることは避けてください。

水銀の安全性



警告：このデジタルプロジェクタのランプには、少量の水銀が含まれています。ランプが破損した場合は、破損が起きた部屋を十分に換気してください。ランプの廃棄は、環境汚染防止のために法律で規制されている可能性があります。廃棄またはリサイクルの方法については、各自治体または電子工業会 (<http://www.eiae.org>) にお問い合わせください。

規制情報

この項には、一部地域の規制にデジタルプロジェクタがどのように適合するかを記載します。

HP の明示的な承認なしにデジタルプロジェクタを改変した場合、これらの地域でデジタルプロジェクタを使用する権利がなくなるおそれがあります。

米国

このデジタルプロジェクタは、FCC 規則のパート 15 に従って、クラス B デジタル機器の制限に適合することが試験によって検証されています。これらの制限は、住宅内に設置したときに有害な干渉に対して適度の保護を提供することを目的として作成されています。

このデジタルプロジェクタは、無線周波数のエネルギーを生成し、利用し、放射する可能性があります。

設置や使用の際に説明書の指示を守らないと、無線通信に有害な干渉を及ぼすおそれがあります。ただし、特定の設置環境において干渉が発生しないという保証はありません。このデジタルプロジェクタによってラジオやテレビの受信に有害な干渉が生じた場合（プロジェクタが原因かどうかはプロジェクタの電源を抜いてみればわかります）、以下のことを試してください。

- 受信アンテナの向きや位置を変える。
- デジタルプロジェクタとレシーバの位置関係を変える。
- デジタルプロジェクタの電源コードを別のコンセントに差し込む。

周辺機器との接続

FCC 規則および規制への適合性を維持するため、この装置には正しくシールドされたケーブルを使用してください。

詳細については、販売店や専門の無線 / テレビ技術者に相談するか、FCC(Federal Communications Commission) が発行している冊子『*How to Identify and Resolve Radio-TV Interference Problems*』などを参考にしてください。この冊子は、米国政府印刷局 (Washington, DC 20402、整理番号 004-000-00345-4) から入手できます。本書の初版時点では電話番号は (202) -512-1800 です。

カナダ

このクラス B デジタル装置は、Canadian ICES-003 に適合します。

日本

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境でを使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。

取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

韓国

사용자 안내문 : B 급 기기

이 기기는 비업무용으로 전자파적합등록을 받은 기기이오니, 주거지역에서는 물론, 모든 지역에서 사용 하실 수 있습니다.

国際

規制に関する識別のため、製品には規制モデル番号が付与されています。お使いの製品の規制モデル番号は、「**declaration of conformity**」に記載されています。この規制番号は、販売上の名称や製品番号とは異なります。

製造者名
製造者所在地

適合宣言
ISO/IEC ガイド 22 および EN 45014 に基づく
HewlettPackard Company
HewlettPackard Company
Digital Projection & Imaging
1000 NE Circle Blvd.
Corvallis, OR 97330-4239

上記は、下記製品：

製品名： デジタルプロジェクタ
モデル番号： mp3220 シリーズ
規制モデル： CRVSB-04VU

が、以下の製品仕様に適合することを宣言します。

安全性： IEC 60950:1999/ EN 60950:2000

IEC 60825-1:1993 +A1 / EN 60825-1:1994 +A11 クラス 1 LED
GB4943-1995

EMC： EN 55022:1998 クラス B [1]

CISPR 24:1997 / EN 55024: 1998

IEC 61000-3-2:1995 / EN 61000-3-2:2000

IEC 61000-3-3:1994 / EN 61000-3-3:1995+A1:2001

GB9254-1998

FCC タイトル 47 CFR、パート 15 クラス B/ANSI C63.4:1992

AS/NZS CISPR 22:2002

補足情報：

本製品はこれにより、下記指令の要件を満たし、これに基づいて CE マーキングを掲示しています。

- 低電圧指令 :73/23/EEC

- EMC 指令 :89/336/EEC

[1] 本製品は、Hewlett Packard パーソナルコンピュータ周辺機器による代表的構成によって試験されています。

本機器は FCC 規則のパート 15 に適合します。動作は以下の 2 つの条件に従います。(1) 本機器が有害な干渉を生じないこと、および (2) 本機器が、望ましくない動作を引き起こすおそれがあるものを含めて、あらゆる干渉を受け入れること。

Corvallis, Oregon, May 1, 2004

CE



Steve Brown, General Manager

規制事項に関する欧州の連絡先:Hewlett Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Straße 140, 71034 Boeblingen, Germany.(FAX:+49-7031-143143).

米国の連絡先 :Hewlett Packard Co., Corporate Product Regulations Manager, 3000 Hanover Street, Palo Alto, CA 94304. Phone: (650) 857-1501.

H

hide ボタン
使用方法 32

L

LED の安全性
注意事項 71

S

S ビデオ接続
ビデオソースの接続 21

SCART 装置 21

source
変更 32

あ

アクセサリ
リスト 14

アップグレード 47

アナログビデオモード
互換性 68

安全情報
LED 71
注意事項 70

オーディオ
調整 34

オフにする 25

オンスクリーンメニュー
使用方法 38
画像調整メニューの説明 40
クイックセレクトメニューの説明 38
使用方法 36, 37, 38

セットアップメニューの説明 42
入力メニューの説明 39
バージョン情報メニューの定義 42
オンにする 24

か

画像
調整 34
画像調整 34
画像の最適化 34
画像モード
説明 34
変更 30, 34
キーストーン補正
調整 33
距離
画像サイズに応じたセットアップ 15
グラフィックスモード
画像モードを参照
携帯端末
接続 20
言語
変更 35
ケンジントンロック 53
固定
ロック 53
コンポーネントビデオ接続
ビデオソースの接続 23
コンポジットビデオ接続
ビデオソースの接続 22

さ

三脚

取付け 53

仕様

プロジェクトの 65

焦点

調整 27

範囲 27

ズーム

調整 27

範囲 27

ステータス

プロジェクト 43

寸法

スクリーンと部屋 16

設置

卓上設置を参照

天井設置を参照

背面投影時の設置を参照

設置場所

卓上設置を参照

天井設置を参照

背面投影時の設置を参照

設定

オンスクリーンメニューを使用 37, 38

セットアップ

卓上設置も参照

調整 35

天井設置も参照

背面投影も参照

た

卓上設置

セットアップ 17

テスト

診断 63

電源

オフにする 25

オンにする 24

天井設置

セットアップ 50

トラブルシューティング

音声の問題 61

画像の問題 57

始動時の問題 56

停止の問題 61

ヒント 55

リモコンの問題 62

な

内容物

箱の 8

入出力コネクタ

バックパネルを参照

入力ソースの接続

S ビデオで 21

VGA ポート付きコンピュータ 19

携帯端末 20

コンポーネントビデオ接続 23

コンポジットビデオ接続 22

は

背面投影用の設置

セットアップ 52

バックパネル

説明 12

歪んだ画像

キーストーン補正を参照

ビデオソース 21

ビデオモード

画像モードを参照

ファームウェア

アップデート 47

プレゼンテーション
 コンピュータから 31
 ソースの変更 32
プロジェクト
 アップグレード 47
 セットアップ 15
 調整 33
 トラブルシューティング 55
 メンテナンス 43
 各部分の説明 10
プロジェクトの投影位置の調整
 上げ下げ 26
ボタン
 プロジェクト 11
 リモコン 13
ま
メニュー
 オンスクリーンメニューを参照

メニュー参照
メンテナンス
 日常のメンテナンス 43

ら
ライト
 説明 11
ランプセーバーモード 35
ランプモジュール
 交換 44
リアパネル
 バックパネルを参照
リセット 60
 投影設定 60
 プロジェクト 60
リモコン
 使用方法 29
 説明 13
 電池交換 46
レンズ
 お手入れ 44
 清掃 44
ロック 53

